

市民提案型協働事業提案書

平成25年11月21日

実行委員会あて

住所 [REDACTED]
提案者 団体名 もりや市民大学コミュニティづくりコース有志他
氏名 裕元 敏博 印
担当者名 裕元 敏博
連絡先 [REDACTED]

1. 提案事業名	守谷城址公園地域の河津さくら植樹による憩いの場作り事業
2. 現状の課題	<p>・守谷市の東地区には、四季の里公園のアヤメのような花あるいは樹木で特徴付けられた公園が無い。 つまり、花を愛でて、心を豊かにするような憩いの場が無い。</p> <p>・守谷市においては、公園作りは市の役割とし、市民参加型の公園作りが行なわれてない。 公園作りを市民参加型で行なうことで、守谷市が進めている地域福祉活動や町内会・自治会の絆作りに役に立つ可能性があるのではないか。</p>
3. 事業の目的と事業内容	<p>【目的】 守谷城址公園地域に河津さくらを植樹し、市民の憩いの場としての良好な環境をつくる。</p> <p>【事業内容】 (1)平成26年度は上記目的を達成するための課題抽出と解決策、市との協働の方法や地域連携の仕組みを調査・研究し、実現のための具体的なプランを作成する。 (2)平成27年度以降、前年に作成したプランに基づいて、河津さくら植樹を中心として市民参加型の公園作りを進める。</p>
4. 事業の期間	<p>【平成26年度】 ・河津さくら植樹による憩いの場作り事業実施のための調査・研究 ・実施に当たっての地域自治会などとの合意とそれらを中心とした運営組織の編成 ・市との協働を実施する上での役割分担の決定</p> <p>【平成27年度～平成30年度】 ・河津さくら植樹を中心として市民参加型の公園作り実施</p> <p>【平成31年度以降】 ・維持管理を中心とした市民参加型の公園作り実施</p>
5. 協働の効果	<p>・河津さくらを通して、花を愛でて、心を豊かにするような憩いの場を守谷市の中に作ることができる。 西のアヤメ公園、東の河津さくらというような特徴のある公園ができる。</p> <p>・市民参加型の公園作りを進めることで、地域の人たちが参加し、仲間作りや絆作りができ、守谷市の推進している、地域福祉活動の推進支援となりうる。</p>

<p>6. 役割分担</p> <p>※平成26年度対応のみ記述</p> <p>※平成27年度以降の役割分担は26年度の調査研究の成果を元に市と協議し決める。</p>	<p>(提案者の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河津さくら植樹による憩いの場作り事業実施のための調査・研究の実施 <ul style="list-style-type: none"> －実施に当たっての市計画との整合性確保の検討 <li style="padding-left: 20px;">植栽地域の選定 <li style="padding-left: 20px;">維持管理方法の検討と市との役割分担の検討 －先進事例の調査 －専門家のアドバイスを得る －里親制度導入の検討 <p>・平成27年度以降の事業計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> －市と予算案の協議 <p>・運営組織の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> －周辺自治会・町内会や地域福祉推進組織 <p>・里親募集</p>
<p>7. 計画事業 終了後の対応</p>	<p>(市の役割・担当課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守谷城址公園地域の整備計画についての情報提供。 ・守谷市民に対し、市民参加型の公園作りを進める旨の周知。 ・周辺自治会・町内会や地域福祉推進組織への協力依頼。 ・市民参加型の公園作り検討会へのメンバーとしての参加。 ・先進事例見学のための市バスの提供。 ・公園づくり専門家招聘費用の負担。 <p>本事業で策定した計画にもとづき、平成27年度以降4年間で河津さくらの植樹を実施する。 また、平成27年度以降、市民と協働による公園の整備を実施する。</p>

(様式第1号の2)

協働事業収支予算書 (平成26年度)

提案事業名	守谷城址公園地域の河津さくら植樹による憩いの場作り事業
提案者	もりや市民大学コミュニティづくりコース有志他

収入の部

区分	見積額 (単位:円)	積算根拠 (数量、単価等)
市補助	200,000	
収入合計	200,000	

支出の部

区分	見積額 (単位:円)	積算根拠 (数量、単価等)
専門家謝金	200,000	@50,000/1回×4回
支出合計	200,000	

協働事業団体概要書

1. 団体の名称 代表者	団体の名称 : もりや市民大学コミュニティづくりコース有志他
	代表者名 : 裕元 敏博
2. 団体の所在地 連絡先 住所・電話・FAX・e-mail	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px;"></div> FAX : <div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px;"></div> e-mail:
3. 連絡担当者 氏名・住所 電話・FAX e-mail	氏名 : 裕元 敏博 <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px;"></div> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px;"></div> FAX : <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
	e-mail: <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
<要注意>公開・非公開に記載がない場合は、公開可と判断します。	
4. 団体の概要	法人格 有 () <input checked="" type="radio"/> 無
	活動開始年 平成25年
	会員数・内訳 全体 8名 内訳 ()
	役員内訳 役員制度は未構築
	活動地域 <input checked="" type="checkbox"/> 守谷市内を中心に活動 <input type="checkbox"/> 市外を中心に活動 (対象地域:)
	予算規模
	活動拠点 有 () <input checked="" type="radio"/> 無
	ホームページ 有 () <input checked="" type="radio"/> 無
5. 活動の目的	守谷城址公園地域の河津さくら植樹による憩いの場作り事業を推進する
6. 活動の分野 実績⇒ <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 保険・医療・福祉 <input type="checkbox"/> 社会教育 <input checked="" type="checkbox"/> まちづくり <input type="checkbox"/> 文化・芸術・スポーツ <input checked="" type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 災害救援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権擁護・平和推進 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の健全育成 <input type="checkbox"/> 情報化社会の進展 <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 経済活動の活発化 <input type="checkbox"/> 職業能力の開発・雇用機会の拡充支援 <input type="checkbox"/> 消費者の保護 <input checked="" type="checkbox"/> 団体運営の支援 <input type="checkbox"/> その他
7. 活動の内容 (実績・予定)	もりや市民大学平成25年度コミュニティづくりコースのワークショップで自然と環境を課題に議論したメンバーが、その成果として、守谷城址公園地域の河津さくら植樹による憩いの場作り事業を行ってみようという結論に至りました。これを具現化するために本事業を提案し、推進する計画です。
8. 協働に当たって 他団体との連携	<input type="checkbox"/> 提携団体単独で市と協働したい <input checked="" type="checkbox"/> 他の団体と連携したい <input type="checkbox"/> 状況により連携してもよい (理由) 市、地域自治会・町内会や地域福祉推進組織との協働が必須です。
9. 備考	